

10²⁰²⁵
Oct

KAN No. 235

TALK



お腹も心も
満たされる場所



お腹も満たさ



こども食堂は、安心して楽しく過卓を囲み、遊び、話すことでつな今回の特集は、10年にわたってこと、神埼市内にあるこども食堂を

10年前の夏休み期間、地域のこどもたちの昼食をつくることから活動を始めました。「かんざきこども食堂」を初開催した4年後には、高取山公園で「レストランそよ風」の運営を担うように。営業のかたわら「せふりこども食堂」の開催も始めました。3年前からは福岡アニマルセラピー協会からセラピー犬も参加。にぎわいあふれる居場所へと成長しています。

最近では野菜などを分けてもらう機会が増え、協力の輪も徐々に拡大。よく来ていたこどもから「受験受かったよ!」といった報告を受けるなど、温かい交流も続いています。

新たな夢は、発達障害のあるこどもたちが将来働ける場をつくること。これからも心地よい居場所づくりのために頑張っていきます。

食事の準備はします



みんなが集う心地良い居場所

2017年から開催し、毎回100食ほど用意しています。食事のほか、ゲーム、地元野菜の販売、みんなとのおしゃべりなどができる、交流の拠点としても人気です。

さらに、ハンドマッサージや栄養士による健康講座といったバラエティ豊かな企画も。ここで人とつながることで、日々の負担が少しでも和らげばうれしいです。

つながりを生む交流の拠点



社会福祉法人 佐賀整肢学園
担当 西久保 剛 さん

地域交流食堂「こんね」

場所 佐賀整肢学園かんざき清流苑
神埼町鶴2927-2
日時 毎月1回(最終土曜日)11時30分~13時
※実施日時は変わることがあります。
費用 小学生以下 無料 大人 100円
問い合わせ ☎0952-52-8890



心の支えになる場所に



浄光寺 坊守
後藤 契子 さん

心も れる場所

こども食堂

ごせるみんなの居場所です。一緒に食
がり合える、交流の拠点でもあります。
ども食堂を運営する山本まり子さん
をご紹介します。



「せふりこども食堂」では
セラピー犬との
ふれあいをできます。



寺子屋かんざき

かんざきこども食堂

場所 コミュニティハウス・ピュアライフ2F
神埼町田道ヶ里2444-1
日時 毎月1回(第4木曜日)
晩ごはん19時~21時
費用 こども 300円(3歳未満無料)
親子連れ大人 300円
大人のみ 500円
問い合わせ ☎080-3913-3969



チワワの
モコちゃんも
いますよ

代表 ^{やまもと}山本 ^こまり子 さん

今年で10周年を迎えた、お寺のこ
ども食堂です。ここでは「ごちそうさ
までした!」と言って食器を片付ける
のがルール。食事のほかにも本堂で
遊んだり、小さな図書館で本を読ん
だりもできます。集った大人がみん
なで見守るので安心です。

心もお腹も満たされた記憶が心に
刻まれ、支えになる。そんな居場所
であり続けたいです。

おてら食堂

場所 浄光寺 門徒会館
神埼町神埼529
日時 毎月1回(いずれかの土曜日)
11時30分~なくなり次第
※詳しくはSNSより最新情報をご確認ください
費用 無料
問い合わせ ☎0952-52-2017

せふりこども食堂

場所 高取山公園わんぱく館内レストラン「そよ風」
脊振町広滝1472
日時 毎月1回(第2土曜日)
11時~14時
費用 こども 300円(3歳未満無料)
大人 500円
問い合わせ ☎080-3913-3969

2018年の初開催以来、利用者と地域ボランティアが協力
して食事をつくっています。

赤ちゃんからお年寄りまで集うこの食堂でにぎやかに食卓
を囲むと、誰もが幸せな気持ちになれるはず。さらに、悩み
を話して親御さんが安心すれば、こどもも一緒に安心してく
れます。

みんなの食堂は、そんな誰もがほっとできる居場所です。

にぎやかで楽しい食事を



代表 ^{かわぎし じゅんこ}川岸 順子 さん(左)

みんなの食堂

場所 みんなのおうち「ほわ〜っと」
千代田町渡瀬467-3
日時 偶数月(第3土曜日) 11時30分~14時
※実施日時は変わることがあります。
費用 中学生以下 無料 大人 200円程度
問い合わせ ☎0952-37-1615

8/23

脊振町わんぱくまつり

第28回脊振町わんぱくまつりが高取山公園で開かれ、約3,000人が多彩なステージショーと花火を楽しみました。

心配された雨も直前にあがり、親子連れや学生など、多くの人でにぎわいました。露店が並び、浴衣や甚平を着た子どもたちの笑顔があふれてお祭りムードはいっぱい。脊振中学生による〇×クイズや消防音楽隊による演奏、BMXパフォーマンスなどに会場からは歓声が上がりました。

フィナーレの花火と和太鼓の響演は圧巻で、来場者は夏の日を満喫していました。



9/6

脊振まると大運動会

脊振まると大運動会が、脊振小学校運動場で開催されました。天候にも恵まれ、参加した約300人は元気いっぱい、さわやかな汗を流しました。

園児や小中学生、住民、脊振学園の利用者、自衛隊員が出場し、世代を超えて地域のつながりが深まった運動会になりました。徒競走やリレーのほか綱引き、玉入れなど暑さに負けじと熱戦が繰り広げられ、グラウンドにはたくさんの笑顔がこぼれていました。



8/23

脊振の良さを親子で体験 山村留学体験



脊振町で県内外の小・中学生を対象にした「山村留学体験」が行われ、9家族21人が参加しました。市が地域や学校と連携し「豊かな自然」と「地域とのふれあい」の中で思いやりの心を育ててほしいと初めて開催。

学校見学では、脊振小の5年生がクイズ形式で脊振の良さや学校生活の楽しさを紹介しながら校内を案内。参加者に「ぜひ脊振小で一緒に学びましょう」と呼びかけました。

また、保護者と一緒に竹を使った工作や野菜収穫体験も行われ、子どもたちからは満面の笑みがあふれていました。

8/30

認知症の理解促進のため オレンジシアター開催

認知症啓発を目的とした市民向け上映会「オレンジシアター」を市内4カ所の公民館などで行いました。

今回は認知症家族の交流を描いた「ばあばは、だいじょうぶ」を上映し、10代から80代までの幅広い世代が多く来場。

来場者は「認知症への理解を深めることができた。今後は家族や地域の方とも助け合っていきたい」と感想を述べ、認知症との向き合い方や意識を高めました。

また、認知症月間である9月には認知症支援のシンボルカラーとされているオレンジ色で市役所や旧古賀銀行神埼支店をライトアップしました。



9/3

人命救助に貢献 山下和昭さんに感謝状

7月29日、交通事故に遭った後、心肺停止状態になった高齢男性に適切な救命処置を行い命を救ったとして、山下和昭さん(神埼町)に神埼消防署から感謝状が贈呈されました。

山下さんは救急隊が到着するまでの間、意識を失った男性に心臓マッサージを実施。「救命講習などを受講した経験もあり、何か手助けできないかと体が勝手に動いた」と当時の状況を振り返りました。

神埼消防署の谷口署長は「勇気ある行動で一人の命が救われたことに感謝したい」と感謝を伝えました。



9/12・17

いつまでもお元気で 長寿のお祝い



長寿の祝福と社会に貢献された労をねぎらうため、市長が今年度100歳になられる方を訪問し、祝金を贈呈しました。

市長から直接お祝いを受けられた高野アイ子さんは「60代まで山登りをしていたので足腰はしっかりしています。クレヨンで植物の絵を描くことも好きです」と健康の秘訣を話されました。

市内で今年度中に新たに100歳となる方は22人、100歳以上の方は45人となりました。市内の最高齢者は古澤タカノさんで106歳。また、男性最高齢者は野口繁延さんで101歳です。